

---

7号機 低圧タービン第14段  
動翼フォーク部の点検状況について  
(続報)

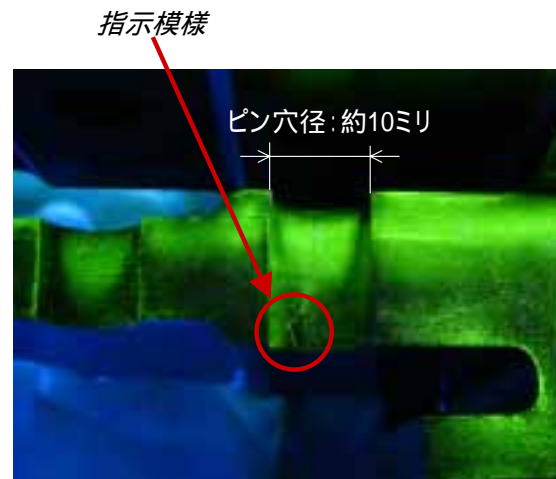
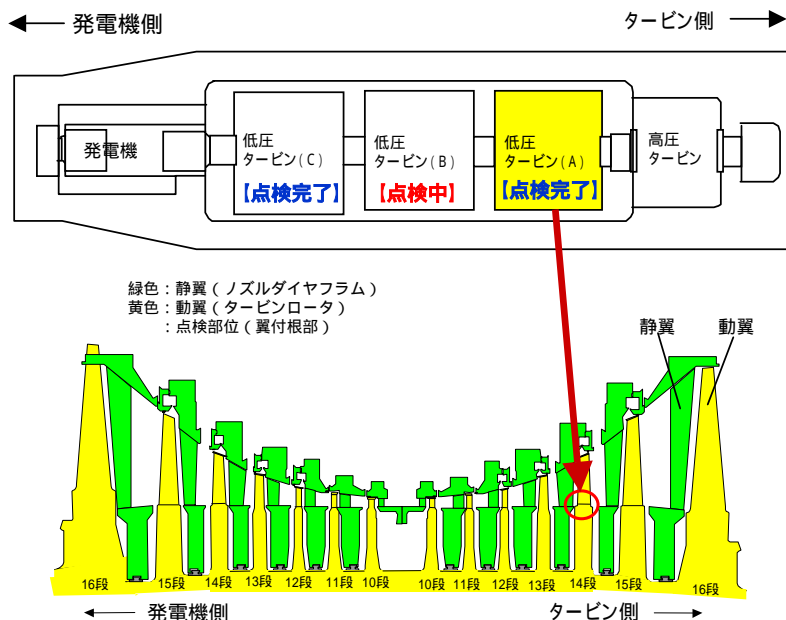
平成20年4月3日  
東京電力株式会社  
柏崎刈羽原子力発電所

---



## 低圧タービン（A）第14段動翼フォーク部の点検結果

- ・7号機 低圧タービン(A)第14段(タービン側、発電機側)の動翼各152枚、計304枚を取り外し、動翼のフォーク部について外観目視点検を実施した結果、折損は確認されなかった。
- ・計304枚動翼のフォーク部について非破壊検査\*を実施した結果、タービン側の動翼1枚(1箇所)に指示模様を確認した。

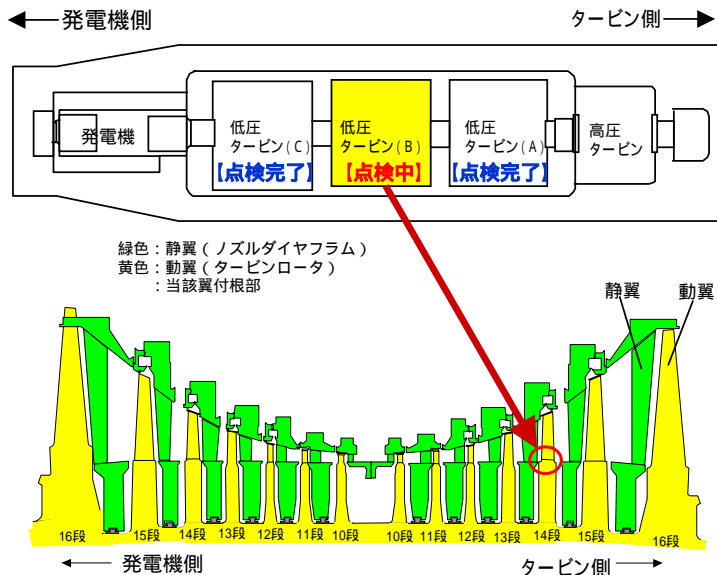


磁粉探傷検査による指示模様  
(第14段(タービン側)動翼(128枚目)フォーク部)

\*非破壊検査とは、材料表面の微小な傷などを確認する検査手法。今回の点検では「磁粉探傷検査」を実施。

## 低圧タービン（B）第14段（タービン側）動翼フォーク部の点検状況（速報）

- ・7号機 低圧タービン（B）第14段（タービン側）の動翼152枚を取り外し、動翼のフォーク部について外観目視点検を実施した結果、1枚のフォーク部の一部に折損を確認した。
- ・引き続き、低圧タービン（B）第14段の動翼フォーク部について外観目視点検および非破壊検査を実施します。



第14段（タービン側）動翼フォーク部  
損傷箇所（80枚目）